

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月4日

上場会社名 モジュール株式会社

上場取引所 東

コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木原 礼子

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 経営・管理担当 (氏名) 藤井 隆徳

TEL 03-3454-2061

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,358	10.1	68	56.7	148	23.1	122	31.2
25年3月期第3四半期	1,233	18.5	43	△29.0	120	92.7	93	60.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	89.11	—
25年3月期第3四半期	67.90	—

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,492	482	32.4
25年3月期	1,264	377	29.8

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 482百万円 25年3月期 377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,619.00	1,619.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期の年間配当金は実質増配の1株あたり18円となる予定です。

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	11.5	140	34.0	190	1.3	100	12.7	72.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	1,370,000 株	25年3月期	1,370,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	1,370,000 株	25年3月期3Q	1,370,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益は改善し、設備投資も持ち直しの動きが見られ、個人消費は持ち直しを見せるなど景気は緩やかに回復しており、各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことが期待されております。

このような環境の中、「本業である企業向けの継続的ITサービスへの集中」、「各種ITサービスの大型化や長期化」、「新しいITサービスの立ち上げ」、「全社的な業務効率化の推進」、「堅実な経営管理体制の更なる推進」などに取り組んでまいりました。

#### ・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、ほぼ計画通りで堅調に推移し、「一時的ITサービス」の売上も商品売上に付随する作業案件等が増加し、比較的順調に推移しました。

その結果、ITサービスの売上高は881,000千円（前年同期比2.6%増）となりました。

#### ・商品売上

商品売上は、厳しい事業環境は継続しているものの、設備投資は持ち直し傾向が見られ、主要顧客からのハードウェア・ソフトウェアの大型案件獲得や新たなソリューション製品の販売案件により、順調に推移しました。

その結果、商品売上は477,872千円（前年同期比27.5%増）となりました。

当第3四半期累計期間の新規顧客獲得数は、過去3年間の平均（過去3年間に於ける9ヶ月間の新規顧客獲得数は平均17社。）と比較して約2倍のペースで33社（内、大手企業又はその子会社様が9社、ITサービスの契約があった顧客20社。）を獲得することが出来ました。その内、当事業年度から本格稼働を始めた新サービスの関連部門では、新規顧客10社を獲得し、順調に実績をあげており引き合いも増えております。また「モジュール セキュアリサイクルセンター」を開設し稼働開始いたしました。

費用面につきましては、第2四半期累計期間と同様に、引き続き売上高は前年同期と比べ増加傾向であるのに対し販管費はほぼ同水準であり、営業利益の増加に寄与しております。なお、第1四半期会計期間において、貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上しております。

以上により、当社の当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,358,872千円（前年同期比10.1%増）、営業利益68,856千円（前年同期比56.7%増）、経常利益148,845千円（前年同期比23.1%増）、四半期純利益122,081千円（前年同期比31.2%増）となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ227,556千円増加し、1,492,155千円となりました。

これは、長期貸付金の減少等があったものの、現金及び預金や無形固定資産の増加、貸倒引当金戻入による貸倒引当金の減少等があったことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ122,154千円増加し、1,009,289千円となりました。これは、買掛金や未払法人税等の減少等があったものの、短期借入金及び長期借入金の増加等があったことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ105,401千円増加し、482,866千円となりました。これは、四半期純利益計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して2.6ポイント増加し、32.4%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想数値につきましては、平成25年5月10日公表時から変更しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	163,400	239,215
受取手形	—	2,462
売掛金	177,838	214,145
商品	59,907	80,764
仕掛品	3,176	802
リース投資資産	65,523	89,630
繰延税金資産	17,313	11,100
その他	45,516	69,702
貸倒引当金	△1,296	△1,561
流動資産合計	531,380	706,262
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	336,761	284,009
その他(純額)	12,056	11,090
有形固定資産合計	348,818	295,099
無形固定資産		
ソフトウェア	19,648	104,986
貸貸用資産	60,537	209,935
無形固定資産合計	80,185	314,922
投資その他の資産		
投資有価証券	16,279	26,128
長期貸付金	351,062	175,337
その他	170,872	131,741
貸倒引当金	△234,000	△157,337
投資その他の資産合計	304,214	175,870
固定資産合計	733,218	785,892
資産合計	1,264,599	1,492,155
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,722	120,578
短期借入金	—	80,000
1年内返済予定の長期借入金	257,330	315,026
未払金	54,037	48,652
未払法人税等	38,130	1,878
前受金	181,182	188,103
賞与引当金	7,983	16,859
保険積立金解約損失引当金	20,664	—
その他	22,304	13,180
流動負債合計	727,355	784,280
固定負債		
長期借入金	159,779	225,009
固定負債合計	159,779	225,009
負債合計	887,134	1,009,289

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	31,558	31,558
利益剰余金	90,875	190,776
株主資本合計	376,654	476,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	810	6,311
評価・換算差額等合計	810	6,311
純資産合計	377,464	482,866
負債純資産合計	1,264,599	1,492,155

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,233,787	1,358,872
売上原価	918,780	1,019,872
売上総利益	315,007	339,000
販売費及び一般管理費	271,072	270,143
営業利益	43,935	68,856
営業外収益		
受取利息	8,364	3
受取配当金	258	291
為替差益	4,946	6,892
受取手数料	3,979	3,560
貸倒引当金戻入額	68,308	76,662
その他	531	182
営業外収益合計	86,389	87,593
営業外費用		
支払利息	9,396	7,521
支払手数料	52	43
その他	—	39
営業外費用合計	9,449	7,604
経常利益	120,875	148,845
特別損失		
固定資産除却損	2,362	18
事務所移転費用	1,951	—
特別損失合計	4,313	18
税引前四半期純利益	116,562	148,827
法人税、住民税及び事業税	20,955	22,992
法人税等調整額	2,582	3,753
法人税等合計	23,537	26,746
四半期純利益	93,024	122,081

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。